

令和 7 年度病床機能再編支援事業 事業計画書

1 医療機関の概要

医療機関名	医療法人信尚会 志賀内科
所在地	大分県竹田市大字竹田 1 8 8 8
開設者	志賀 耕二
管理者	志賀 洋
許可病床数	1 9 床
診療科目	内科
沿革等	1 9 7 2 年 1 月 1 日開院

2 病床削減の内容

(削減の内容)

当院の急性期病床 19 床のうち、6 床を削減し、13 床に変更することとする。

(削減病床の現在の運用)

急性期病床として運用しています。気管支炎や胃腸炎、めまい症など急性期疾患の加療のために使用することが多い状況です。

(削減後の病床の運用)

削減後の 13 床に関しては現在同様に、急性期病床として運営する予定。

(削減の時期)

令和 8 年 3 月 3 1 日

(削減後の診療所の運営方法)

病床を削減し、地域の現状に合わせた規模に縮小することにより、人口減少やスタッフ不足の中で充実した適切な病床運営を行う予定です。今後もかかりつけ医としての地域に密着した医療提供を継続していく予定です。

3 病床削減の理由とその効果

(削減に至った経緯)

人口減少や医療に対するニーズの変化により、以前と比べて、徐々に入院患者の減少が進んでおり、現在の病床を最大限活用することが見込めない状況となったため。

(削減が地域医療構想の推進に資するものであることの説明)

現在かかりつけ医としての1次医療や独居や高齢化など、地域特性に対応した急性期病床の提供を行っている。今後の対象患者の減少や、医療スタッフが不足することを鑑み、病床を削減することにより、より現状に即した充実した地域医療を提供できると考えている。

また、豊肥医療圏において急性期病床は過剰となっているため、急性期病床を削減することで当該医療圏の必要病床数に近づけることができる。

4 再編による地域への影響

(患者数の現状)

令和6年度病床機能報告における 入院患者数(延べ)	3,703名
病床再編後の入院患者見込み数	3,240名

(削減しても入院提供体制に問題はないことの説明)

病床削減後においても、入院提供体制に支障は生じない見込みである。

病床削減後の年間入院患者見込み数は3,240名であり、1日平均約9床で対応可能な状況であることから、現行体制で十分対応できると考えている。

また、今後病床数を超える入院が必要となる場合には、下記の医療機関との連携体制が整っている。

- ・竹田医師会病院…以前から紹介を行っている医療機関

5 支給額の算定

許可病床数	19床
稼働病床数	16床
病床削減後の許可病床数	13床
削減病床数	3床
年間在棟患者延べ数	3,985人
病床稼働率	57.4%
1日平均実働病床数	10床
支給単価① (一日平均実働病床数までの削減分に係る支給)	1,368千円
支給対象病床数(①該当分)	3床
支給単価② (一日平均実働病床数以下の削減分に係る支給)	—
支給対象病床数(②該当分)	—
<u>支給申請額</u>	<u>4,104千円</u>

※病床数等は平成30年度病床機能報告に基づく。